

## 令和7年度第1回三重県地域職業能力開発促進協議会 議事概要

日時：令和7年11月17日(月) 14:00～15:30

場所：三重労働局 地下会議室

### 【議事】

#### (1) 令和6年度公的職業訓練実績について

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構三重支部、三重県、労働局から資料に沿って令和6年度の公共職業訓練及び求職者支援訓練の受講者数や就職者数等の実施状況について説明。

#### (2) 公的職業訓練効果検証ワーキンググループのヒアリング結果等について

労働局から公的職業訓練効果検証ワーキンググループのヒアリング結果等について説明。

##### <検証対象分野>

- ・IT分野、WEBデザイン分野

##### <ヒアリング対象>

- ・訓練実施機関（3機関）
- ・訓練受講修了者（3名）
- ・訓練受講者採用企業（3社）

##### <ヒアリングにより把握した要望・改善点に対する主な取組案>

- ・デジタル系訓練の見学会開催等によりハローワーク職員の理解を深め、適切な周知を行う
- ・実務を意識した課題解決型のグループワークやディスカッションを取り入れるカリキュラムの改善を訓練校と検討
- ・訓練申込段階から就職の方向性を明確にし「採用されやすい人材」の意識付けが出来るよう、訓練前からキャリアコンサルティングを実施し就職支援を行う
- ・求人者に職業訓練を周知するイベント等を開催し、求人開拓に繋げる

#### (3) その他職業能力の開発促進の向上に資する取組等について

労働局から各種人材開発に係る支援策について説明。令和7年度デジタル技術の活用に関するアンケートと取組について報告し、結果を共有した。また、キャリア形成・リスキリング推進事業についても実施内容の案内を行った。

その他、構成員から実施しているリカレント教育に関する報告があり、構成

員間で共有した。

#### (4) 令和8年度三重県職業訓練実施計画の策定方針について

全体的な方針として、労働局から以下を提案。

- ・応募倍率が低い分野について、コース日程の調整や受講希望者への説明会の機会を増加する等の受講勧奨を強化し、受講者を確保する
- ・就職率が低い分野について、訓練受講の目的を明確化し就職意欲が継続するよう訓練実施施設とハローワークの連携を含めた就職支援を行う
- ・求職者支援訓練（基礎コース）の計画数に応じたコース設定について、社会人としての基礎的能力が習得できる基礎コースは有効なため、引き続き確実なコース設定を行うこと及び受講が有効と思われる求職者を中心に受講者確保に努める
- ・デジタル系の訓練コースが不足していることについて、計画に沿って複数のコースを設定し、就職率向上のため、訓練校によるハローワーク職員向けの説明会の開催等でコース理解を進め受講希望者に適切な案内を行い、デジタル系訓練受講者が応募しやすい求人の確保に努める

また、各訓練について独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構三重支部、三重県、労働局から方針案を提案。訓練実施規模等についての説明を行った。

#### (5) 教育訓練給付制度による訓練機会の確保等について

労働局から教育訓練給付制度の概要、三重県における指定講座や支給状況について説明。

#### (6) 教育訓練手法の構築・普及促進事業について

労働局から厚生労働省実施の「教育訓練手法の構築・普及促進事業」について取組と事業報告（厚生労働省ホームページに掲載）について紹介。

#### **【主なご意見・提案】**

- DX分野は人材確保の強化が必要で、IT・AI時代でもコミュニケーションと組織間連携が生産性向上の鍵。
- 一般事務職でもデジタル系スキルの必要性が高まっているが、全員が専門領域まで対応するのは難しい。学んだスキル全てを業務で活かさないこともあるが、自己成長や将来の可能性につながるため、段階的な習得や企業ニーズの反

映、学び続ける力の育成が重要。また、技術革新の速さに対応するため、教育側は最新の企業要求を把握し、サポート体制を整える必要がある。

●機械、土木、運輸、介護などの現場作業の方々は、人手不足で社会に不可欠な仕事として評価が高まり、資格職の需要増と女性参入の促進が課題。

●職業能力開発は環境整備とスキル習得が主題で、数字よりも受講者に寄り添う制度であることが重要。

●女性や障害者向け職業訓練の環境整備と、三重県の観光業人材育成の対応を検討する必要がある。

●助成金の周知が課題で、複数メニューをまとめた説明会や中小企業への活用促進が必要。

➤ 令和8年度三重県職業訓練実施計画の策定方針案については提案のとおり承認された。